

**正式就任で
悪夢のアメリカ・ファーストが
同盟国・日本はどうか？**



トランプ 軍拡を

「われわれは富を取り戻すだ
らう。2つのルールを守りた
い。米国のモノを買う。そし
て米国人を雇用する。自分た
ちの利益を最優先してください」
などと恥ずかしげもなく観
衆に呼びかけた。
日本はこの男にどこまでか
き回されることになるのか。
ジャーナリストの須田慎一
郎氏は「最も心配していた事
態はすでに起こっています」
として、次のように話す。
「トランプ氏は米紙ウォール
・ストリート・ジャーナルの
インタビューに答えて、ドル
は強すぎる」と言いました。
実力行使でドル安に持って
いくのではないかとマーケット
が反応し、ドル安円高の流れ
になりました。安倍政権の発
足以降、日本の企業は円安に
乗って大きなプラス効果を得
ていたため、それが逆流し始
めるおそれがあります」
具体的には円安でどのよう
なダメージを受けるのか。

がある。安倍首相は一見、
無理を言わないでください
よ」と困ったようなふりをす
るでしょう。しかし、タカ派
の政権ですから、いい追い風
とみて防衛予算を増やした
り、自衛隊を増強したりする
心配があります。(猿田氏)

日本がオーストラリアやイ
ンドとの関係をさらに強化
し、中国封じ込めに走る流れ
が予測されるという。

「それでは中国も反発し、逆
にアジア情勢は不安定になる
のではないかと。すでに政府に
近いシンクタンクと言われる
研究機関から、防衛予算を増
やさないさいと政策提言が出て

次号「腹企画」冷たい
あつたかグズグズ
注目特集満載号1月31日発売

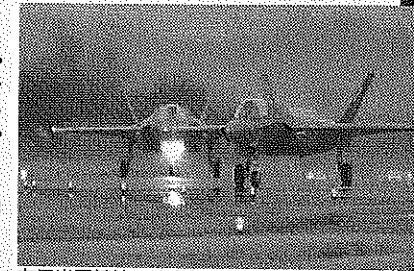
史上最も世界の女性を敵に回した米大統領が正式就任した。その尊大な態度とは裏腹に、ツイッターでちょこちょこグチるなどせせこましい男。しかし、米国人ではなく日本人である私たちにとって本当に怖いのは――。

安倍首相の便乗を 利用した 許すな!



「日本は輸出立国です。例え
ば、トヨタ自動車は、円安に
1円動けば年間の利益が約4
00億、500億円増えるとい
われています。自動車、エ
レクトロニクス、家電、電子
部品、建設機械や工作機械と
いった輸出産業は日本経済の
牽引役なので、業績が悪化す
れば日本経済全体に
悪影響を及ぼしま
す。円安で景気が浮
上りかかっていた日本経済が
失速しかねない。アベノミク
スは円安にすることを目的に
していましたが、真逆の方
向です」(前出・須田氏)
ほとんどの国民はアベノミ
クスの恩恵を受けていないの
に、もう終わりでは話が違う。
そんなに米国経済は冷え込ん
でいるのか。須田氏は「むし
ろ好調ですよ」と話す。
「それでもトランプ氏は中
国、メキシコ、日本を名指し
して米国の貿易赤字を減らし
ていくと発言しています。G
DP(国内総生産)がプラス
成長すると景気がよくなり、
貿易赤字額が少なくなる。G
DPはプラス成長します。貿易
赤字を圧縮するのは手っ取り
早い方法なんです」(須田氏)
短期的には効果が上がって
も、中長期的にみれば競争力
が弱まるなど米国経済にとっ
てもマイナスで、日本経済に
も世界経済にもマイナスの影
響を与えるという。
心配されるのは市場経済だ
けではない。トランプ氏は在
日米軍の駐留経費についても
全額負担を求めており、就任
前に安倍首相と会談した後も
発言を撤回する様子はない。
日米外交に詳しい国際弁護士
でシンクタンク「新外交イ
ニシアティブ」事務局長の猿
田俊彦氏は、トランプ氏の事
実認識を指摘する。
「在日米軍は、日本を守るた
めにある」と言っているが、
例えば、沖縄の米軍基地から
イラクやアフガニスタンに派
兵するなど、日本の防衛を離
れたアメリカのための基地で
もあるという要素も強い。し
かも、日本は駐留経費の約75
%を負担している。日本国民
の多くは、もう十分払ってい

いるのか。須田氏は「むし
ろ好調ですよ」と話す。
「それでもトランプ氏は中
国、メキシコ、日本を名指し
して米国の貿易赤字を減らし
ていくと発言しています。G
DP(国内総生産)がプラス
成長すると景気がよくなり、
貿易赤字額が少なくなる。G
DPはプラス成長します。貿易
赤字を圧縮するのは手っ取り
早い方法なんです」(須田氏)
短期的には効果が上がって
も、中長期的にみれば競争力
が弱まるなど米国経済にとっ
てもマイナスで、日本経済に
も世界経済にもマイナスの影
響を与えるという。
心配されるのは市場経済だ
けではない。トランプ氏は在
日米軍の駐留経費についても
全額負担を求めており、就任
前に安倍首相と会談した後も
発言を撤回する様子はない。
日米外交に詳しい国際弁護士
でシンクタンク「新外交イ
ニシアティブ」事務局長の猿
田俊彦氏は、トランプ氏の事
実認識を指摘する。
「在日米軍は、日本を守るた
めにある」と言っているが、
例えば、沖縄の米軍基地から
イラクやアフガニスタンに派
兵するなど、日本の防衛を離
れたアメリカのための基地で
もあるという要素も強い。し
かも、日本は駐留経費の約75
%を負担している。日本国民
の多くは、もう十分払ってい



在日米軍基地には今年1月、F35最新鋭
ステルス戦闘機が配備された

ファミリー・イメーజのSNSは選り

「トランプファミリーは家族
愛が強い。支える女性の人物
像をもっと知りたいと思っ
たのが出版のきっかけです」
話題の月刊「この美女たち
が世界を操る」トランプ家
の謎(橋本出版編集部 編)
II写真IIを28日に刊行する同
部の佐野の彦編集長は話す。
俳優レオナルド・ディカプリ
オをふったという長男の嫁
を含めたファミリーの女性の
経歴とエピソードを追いかけ
る。ほとんどがカラー写真と
いう全188枚の中には、長
女イヴァンカさん(36)がモ
デル時代にバストトップをポ
ロリしたショットも。
「見た目と最もキャップがあ
ったのはイヴァンカさんでし
た。夫を完全にコントロール
するなど才色兼備のしっかり
した女性です」(佐野編集長)

メラニア夫人(46)をナン
パして不倫に持ち込んだとい
うなれそめだけでなく、前
妻、元妻との愛憎劇まで綴
る。浮気やセクハラ、性的暴
行が取りざたされた相手も頭
写真つきで紹介している。
「米国のトップまでいっ
るの大変なこと。家族もも
のすごくパワーを求められる
という現実を知っていただけ
たらうれい」(佐野編集長)
ちなみにトランプ氏のナン
パ術は「一万、出すから部屋
に来ないか」だとか。
A5判96頁。橋本出版刊。
税別1,100円。

いと新聞で報じられま
した。長らく防衛予算は
GDPの1%を超えない
ように組まれてきました
が、1・2%に上げるべ
きという内容のものも
あります。周りからも
声が上がりが、そういう
ムードがつけられたう
えて軍備増強の決定が
なされていくのでし
ょう」
と猿田氏。
女性の眼力に期待
がかかる。

「女性は子どもの将来や生活
のことをよく考えているの
で、男性よりも危険な動きに
敏感です。安保関連法制の強
行採決のときもそうでした。
トランプ大統領対策のことを
言っているうちに、軍拡にな
っていたとならないよう、女
性ならではの感覚でチェック
していく必要があるのではな
いでしょうか」(猿田氏)
海の向こうで吠えるトラン
プ氏の言動に振り
回されず政治の動
向を見極めたい。